

情熱の国

スペイン

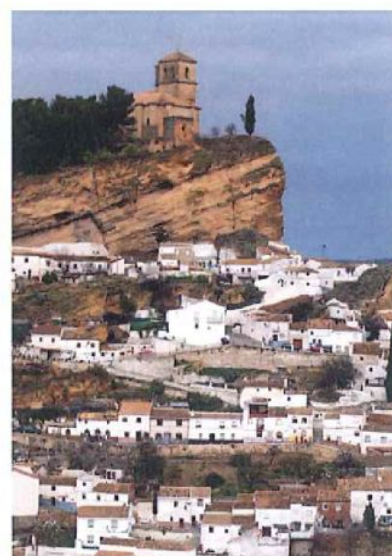
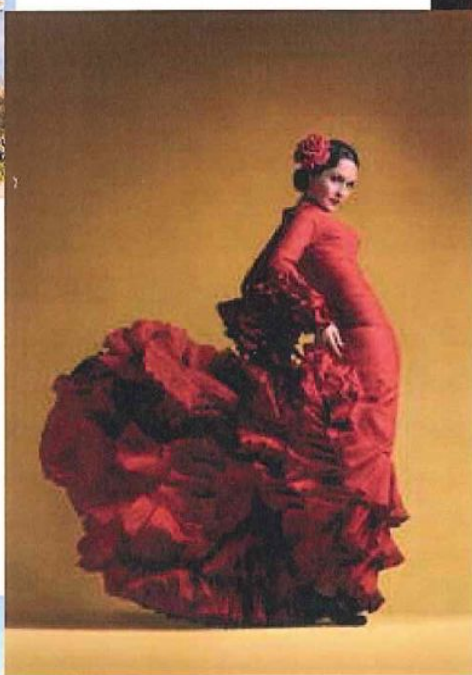
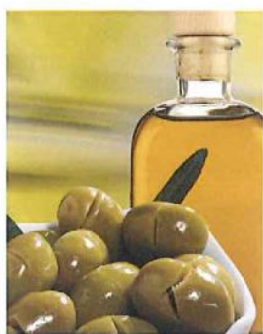
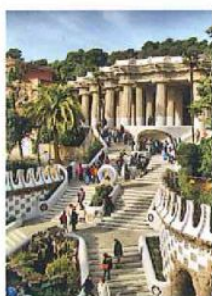


ピレネー山中

アンドラ公国



2012年6月4日(月)～6月13日(水) 10日間



(写真はすべてイメージです)

〈企画・実施〉 ㈱アサヒトラベルインターナショナル

中世の風情を感じ、イベリア半島の歴史に触れる旅
 ~情熱の国スペインとピレネー山中アンドラ公国10日間の旅~

スペインはイベリア半島のほぼ80%を占めています。北はピレネー山脈を隔ててフランスと接し、南は地中海を挟んでアフリカと向かい合っています。古くから多くの民族が侵入し、盛衰を繰り返してきました。なかでも、800年にわたってイベリア半島の大部分を支配したイスラム教徒による影響は大きく、地域や町ごとに多彩な個性を持つ国です。観光政策は非常に徹底されており、国民の歴史的な価値に対する意識も高く、古い建物や町並みが維持され、積極的に保存されています。

また、イベリア半島は地質構造でいうところの中ヨーロッパと呼ばれる地質に位置しています。古生代後半(3億2千万~2億2千万年前)のバリスカン変動と呼ばれる造山運動によって形成された地盤が、浸食や堆積などを繰り返して現在の地形を造り上げています。

訪問地の見どころポイント!



グエル公園(バルセロナ)

グエル公園は、元はグエル伯爵の投資によってガウディが設計した分譲住宅地です。1992年に市へ寄付され公園となりました。1984年には世界文化遺産へ登録されました。公園の一番人気はトカゲですが、注目したいのが広場にある回廊と公園に隣接する階段です。回廊は、斜面保護と装飾を兼ねて、削り取った岩盤に沿って建設されています。また、階段は、一千万年以上も前の褶曲した断層をデザインに取り入れています。



アンドラ公国

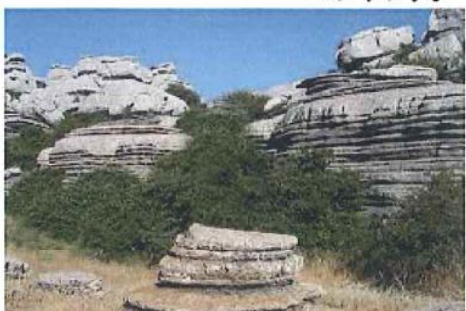
ピレネー山脈の東端に位置し、標高1,000~2,600mの山岳地域にある面積468平方キロ、人口84,000人(2008年:国連統計部)の小国です。この国は全て、ピレネー山脈の中にあり、札幌と同緯度(北緯43度付近)です。谷沿いに集落が形成されており、家屋は自然石を積み、石の間には石灰あるいは赤土が詰められています。屋根は自然石のスレートで覆われています。

※ピレネー山脈は石灰紀から二畳紀にかけてヘルシニア造山運動を受け、古生層は広域変成作用を受けて、花崗岩に貫入されました。その後、白亜紀と第三期にアルプス造山運動を受けました。



モンテフリオ

広大なオリーブ畑が広がるアンダルシア地方の田舎町です。あまり日本では知られていない村ですが、アンダルシアの白い村の中で最も美しいと賞賛され、この村ではその幻想的な雰囲気から結婚式を挙げに来るカップルも多くいます。この村では、オリーブ畑を訪問して農業関係者の話を聞きます。



エル・トルカル国立公園(アンテケラ近郊)

かつて海の底だった約20平方キロメートルに渡るカルスト地形をたつぷりと楽しめる自然の宝庫です。その歴史は、約1億6千万年前にさかのぼり、カディス湾(大西洋)からアリカンテ(地中海)に抜ける長い廊下の様な海が広がっていたと言われています。新生代にアルプスの褶曲によって、水面に突き出したとされ、ジュラ紀のものとされる3種類の石灰岩が見られるそうです。

●その他のポイント●

- *カルモナでは、かつてペドロ一世の居城として使われていた素敵なアラビア風パドール(国営ホテル)に宿泊。
- *マドリッドでは、地質鉱物博物館や王宮などを見学。
- *グラナダでは、本場アンダルシア地方のフラメンコをご鑑賞しながら、スペイン料理をお楽しみ下さい。

それぞれの都市で有名な観光地や世界遺産を巡ります。中世ヨーロッパの雰囲気をどうぞお楽しみ下さい。

情熱の国スペインとピレネー山中アンドラ公国10日間の旅

2011年12月6日

日次	月日 (曜日)	都市名	発着	交通機関	現地時間	日 程 〈宿泊地〉
1	2012年 6月4日(月)	東京(成田) 東京(成田) パリ パリ バルセロナ	発着 発着 発着	AF-275 AF-2148	09:30 11:55 11:15 19:05 20:45	・成田空港集合 ・エールフランス航空275便にて空路、パリへ ・パリにて乗り継ぎ。 ・エールフランス航空2148便にて空路バルセロナへ ・バルセロナ到着後、専用車にてホテルへ ～カタルーニャ地方の中心地 バルセロナにて3連泊～ 〈バルセロナ〉
2	6月5日(火)				終 日	・ バルセロナ市内の見学 ○1882年に着工して今も建設が続く サグラダファミリア教会 (世界遺産) ○ グエル公園 (世界遺産)にて褶曲した断層をデザインに取り入れた階段の見学 ○ ピカソ美術館 ○市民の台所サン・ジョセップ市場 ○モンジュイックの丘など 〈バルセロナ〉
3	6月6日(水)				終 日	・ アンドラ公国への日帰り旅行 スペインとフランス国境にあるピレネー山脈東部にあるアンドラ公国は、標高1000m～2600mの山岳地域にある人口84,000人の小国！谷沿いの集落、石造りの住宅、首都アンドラ・ラ・ペイヤの見学にご案内 〈バルセロナ〉
4	6月7日(木)	バルセロナ グラナダ	発着	JK-6634	07:15 08:40	・スパンエアー航空6634便にて空路、グラナダへ ・到着後、専用車にてグラナダ市内へ ・ グラナダ市内の見学 ○イスラム芸術の最高傑作といわれる アルハンブラ宮殿 (世界遺産) ○花の咲き乱れる ヘネラリーフェ庭園 ○サンニコラス展望台などの見学 ・ フラメンコを鑑賞 〈グラナダ〉
5	6月8日(金)	グラナダ モンテプリオ アンテケラ	発着	専用バス	09:00 16:00	・スペインで一番美しい村と紹介される、白い村 モンテプリオ へ ○ オリーブ農園 を訪問して農業関係者のお話を聞きます ・アンダルシアの交通の要衝の町 アンテケラ へ ○アンテケラ近郊の エル・トルカル国立公園 にて カルスト地形 の独特な地形を観察(約1.5Km又は2.5Kmの散策ルートを歩きます) 〈アンテケラ〉

日次	月日 (曜日)	都市名	発着	交通機関	現地時間	日程 <宿泊地>
6	6月9日(土)	アンテケラ セビリア セビリア カルモナ	発着 発 着	専用バス 専用バス	09:00 11:00 15:00 16:00	・南スペインの文化、政治、経済の中心地 セビリア へ ・ セビリア(世界遺産)市内の見学 ○カテドラル ○ヒラルダの塔 ○アルカサルなど ・道中、アンダルシア地方の6月の風物詩一面に咲く ヒマワリ畑 の眺望を楽しみながら、 カルモナ へ ・カルモナ到着後、付近の散策 ～かつてペドロ1世の居城として使われていた アラビア風 パドール (国営ホテル)に宿泊～ <カルモナ>
7	6月10日(日)	カルモナ コルドバ コルドバ マドリッド	発着 発着	専用バス 新幹線	08:00 09:00 12:29 14:15	・歴史が幾重にも積み重なった街 コルドバ へ ・ コルドバ(世界遺産)市内の見学 ○メスキータ ○アルカサル ○ユダヤ人街など ・スペインの 新幹線(AVE) に乗り、 マドリッド へ ・到着、ヨーロッパ屈指の美術館、○ プラド美術館 の見学 <マドリッド>
8	6月11日(月)	マドリッド トレド マドリッド			午前 午後	・ マドリッド市内の見学 ○地質鉱物博物館 ○王宮 ○サン・ミゲル市場など ・中世のたたずまいを色濃く残した町、 トレド へ ・ トレド市内の見学(世界遺産) ○大聖堂 ○トレド周辺の古代遺跡など <マドリッド>
9	6月12日(火)	マドリッド パリ パリ	発着 発	AF-1001 AF-276	10:25 13:00 14:55	・エールフランス航空1001便にて空路、パリへ ・パリにて乗り継ぎ ・エールフランス航空276便にて帰国の途へ <機内>
10	6月13日(水)	東京(成田)	着		08:50	・到着後、入国・税関を済ませ出口へ ・到着ロビーにて解散

*交通機関並びに時刻は当該運送機関の都合により、予告なく変更される場合がございます。

㈱アサヒトラベルインターナショナル 大阪営業所



SPAIN



日本⇄スペイン
 直行便はないので、ヨーロッパの都市で乗り継ぎ15~18時間。
 時差は、日本時間よりマイナス8時間。(サマータイム時はマイナス7時間。)

旅行行程図

